

野尋禾の
あいのべ
その十四
(2010/10)



野尋禾の

ついのべ

その十四

(2010/ 1 0)

まえがき

”野尋禾のついのべ その十四 (2010/10)”です。

回文ついのべについて——

前にも書いたとおもいますが、回文は麻薬です。

一度ハマると、なかなか抜け出せません。

無意識のうちに、言葉を逆に読むようになります。

回文作成能力は向上しますが、喜んでばかりもられません。

脳の一部が、四六時中、回文を考え続けるのです。

症状が進行すると、生活に支障をきたします。

人が話すのを聞いても、街で看板を見ても、ごくしぜんに言葉をひっくりかえす。

大変です。

そうやって、生み出された作品は、そこそこ感心されます。

しかし、絶賛されるというようなことはありません。

へえ、くらいで終わります。

たしかに、同好の士どうしは、互いにリスペクトし、評価を高めあいます。

しかし、それも小さな世界のこと。

ましてや、回文ついのべとなると……

そのようなわけで、私は、回文ついのべを、ひかえるようになりました。

例外は、追悼のために書く回文ついのべ。

不謹慎ととられるかもしれません。

故人の名前を辱める行為、と思われるかもしれません。

もし、そのような思いを抱かせたとしたら、悲しいです。

私の表現力のいたらなさを恥じるばかりです。

私は、私の人生に影響を与えてくれた故人への感謝の気持ちから、回文ついのべを書いてきました。

そして、これからも、書くつもりです。

あなたの暇を潰す柔らかいハンマー、または曲がるペンチ、それとも……

本コンテンツに収録された作品はフィクションです。
実在する人物、団体名などは便宜上、用いたものです。
実在する人物、団体になんら影響の及ぶものではありません。
ご了承ください。

収録作品はすべて、twitter で発表されたものですが、修正を加えたものもあります。

本ファイルに収録された作品の著作権は、野尋禾／nohi ronogi／佐々木秀博に帰属します。

2010/11/06

HP : http://www.geocities.jp/nohiro_nogi/

mail : nohi ronogi@gmail.com

Twitter : @nohi ronogi

森を抜けると、その喫茶店がある――

というと、森の奥で開業しているようだが、事実は逆。

森から出てきたのは私だ。

喫茶店ができたことも知らなかったが、店主が初恋の彼女だなんて……

見ているだけで幸せだった。

だから、麻酔弾を撃たれたときも、人間だった頃みたいに幸せだった。

2010/10/02 (Sat)22:39:30

*中華人民共和国に抗議するデモ行進とは無関係です。

#twnovel

私たちの行動は、報道されなかった。

自分たちの意志表示のための行動だった。

しかし、そうではあっても、社会に働きかけた証は欲しかった。

メディアを動かした、という実績も。

あれだけの同胞を動員したデモ行進を無視した体制には絶望した。

私たちが人間ではないから？

蟻だから？

2010/10/02 (Sat)23:13:19

*北朝鮮人民共和国の最高指導者の後継者候補とは無関係です。

#twnovel

独裁者の料理番を務めた寿司職人、後継者候補を語る――

おいくつの頃でしたかねえ、

「僕がプリンを食べているとき、庶民は何を食べておるのか」

と呟いておられましたね。

案外、名君になれるかも……

え？

建設中？

大規模プリン工場を？

全国民に配給するんですかい？

へえ……

2010/10/03 (Sun)13:49:19

*紅葉狩り……

#twnovel

来訪者は、困惑していた。

私を取り乱すとも思っていたのか。

事情は、妻から聞いていた――発つ直前に。

はかなげな風情にひとめ惚れした日から、ともに月日を重ね、人生の秋――

妻は狩人の気配を感じ、旅だった。

狩人は関係者の記憶を消去してゆく、という。

さようなら、もみじ……

2010/10/04 (Mon)01:01:32

*松茸狩り……

#twnovel

奴らは、いきなり押し入ってきた。

「遅かったか」

睨むから、睨みかえした。

あのひとは、絶対に渡さない。

「やってくれるぜ。やつが何者か知ってたのか？」

無言。

「まあいい。これを見な」

携帯電話が光る――

記憶の消去？

……させない……あたしのあのひと……あたしのマツタケ……

2010/10/04 (Mon)01:31:02

国民皆保険は夢物語だ。
日本みたいな国なら可能だろう。
だが、合衆国には禅と武士道はない。
富裕層が貧困層の医療費を負担するいわれはない。
そこで貧乏人が富裕層のためにできることが模索された。
そうして提案されたのが、臓器共有制度。
健康な貧乏人の臓器を不健康な金持ちへ……

2010/10/05 (Tue)22:53:40

やっと残暑が去ったと思ったら、朝夕、肌ざむいくらい。

季節は確実に変わった。

日没も早くなった。

黄昏の住宅街には、キンモクセイの香りが漂っている。

秋だなあ、と実感する。

この芳香を放つ花はどんな姿をしているのだろうか？

嗅覚で探してみると、とあるお宅の小さな窓……あれ？

2010/10/07 (Thu)17:57:11

検察庁はじまって以来の不祥事

*検察庁特捜部は実在しますが、この短い物語とは無関係です。今のところは……
#twnovel

検察庁はじまって以来の不祥事だ。

しかも、特捜部。

よりによって、うちを選ぶとは……

「部長よ、さきほど、ツイッターで私が宇宙人にボディスナッチされたことを公表したぞ」

「された？ した、だろ……何！ 公表しただと！ いかん、隠れ蓑を用意しろ！ 大物政治家を訴追しろ！」

2010/10/08 (Fri)21:14:54

ドアを開けると、鈴が鳴るような乙女らの歓迎の声――

「お帰りなさいませ、教祖さま！」

「うむ。寂しくなかったかな？」

「寂しかったです。でも、一生懸命、経典を読んで耐えましたあ」

「偉いぞ」

「私はあ、一心不乱にお声明を唱えましたあ」

「善哉」

――ある日の新興宗教カフェ。

2010/10/09 (Sat)16:11:15

「先生、最新作、素晴らしいですね！」

#twnovel

「先生、最新作、素晴らしいですね！」

「ありがとう」

「本当に、ロウ人形には見えません。生きているようだ。それに、美しい。モデルは、新婚の奥様ですか？」

「ええ」

「愛情の深さがわかります。ところで、奥様にご挨拶したいのですが」

「あれは、あいにく伏せておりました……」

2010/10/09 (Sat)18:22:28

TVってのはいい。

* 中華人民共和国が他国の衛星放送を遮断した件とは無関係です。

#twnovel

TVってのはいい。

ことに最近の衛星放送ときたら、じつに面白い。

苦労して、犬の鳴き声みたいな外国語を覚えた甲斐があるってもんだ。

わが国を世界がどう見ているかもわかる。

おや、またニュースの途中で黒くなったか。

いいぞ。

これは人民にとっていい知らせなんだよな？

同志よ？

2010/10/10 (Sun)02:50:17

当主はうつぶせに倒れこんでいた。

*実際に赤いインクで書くと雰囲気が出ます。

#twnovel

当主はうつぶせに倒れこんでいた。

その指先に注目したのは、やはり探偵だった。

みずからの血で書かれた、乱れた文字――” 甲冑”。

「犯人は甲田月子さん、あなたです！」

「違います！」

「警部、手錠を」

「奥さん、残念です」

がちやり……

傍らの、甲冑の置き物の中で、安堵のため息。

2010/10/10 (Sun)12:48:59

それが亜光速から減速したのは

*”沈黙のフライバイ” (野尻抱介) に――

#twnovel

それが亜光速から減速したのは、太陽まで三天文単位あたり。

そんなわけで、人類が発見したときには、すぐそこまで来ていた――巨大な直角三角形が。

そいつは、理不尽な軌道で地球の大気圏に進入、世界の大都市上空を巡回して、去っていった。

あの手この手で三平方の定理を解説して。

2010/10/11 (Mon)22:26:34

あいつ

*あるプロデューサーと、アイドル声優が、TL上で、ほぼ同時に餅を食していた件とは無関係です。

#twnovel

あいつ、

”餅を焼いたなう。醤油でmgmg”

なんてツイートしてる。

十月の真夜中に餅？ と思ったら、

”醤油で餅うま”

って、これは、あの子……

え？

一緒に、いるの？

こんな時間に？

と、そのとき、TLに異変が――

”餅なう”

”醤油餅なう”

”餅”

”mochi”

……

2010/10/12 (Tue)20:50:16

20XX年——

国内の鉄道網全線の真空チューブ化とリニアモーター化が達成された。

列車の速度は飛躍的に上がった。

革新的なプログラムにより、揺れもなくなり、乗客の満足度も上がった。

また、強引な線路侵入による人身事故の処理速度も上がった。

救助する必要がなくなったためだ。

2010/10/12 (Tue)21:24:07

あ、私、アクタ共和国大統領です。

*アクタ共和国は実在しませんが、チリみたいな国です。

”プリンプリン物語”とは無関係です。

#twnovel

あ、私、アクタ共和国大統領です。

今日ね、鉱山の事故現場で救出活動の本番が始まったんです。

感動しましたね。

世界じゅうから二百社以上の報道機関が、このもようを伝えてるんです。

世界じゅうの皆さんが感動してるんですね。

こんなに感動的ならね、放映権をねえ、ごによごによ……

2010/10/13 (Wed)17:47:46

*毎月十四日はついのべの日。今月のお題は”旅”。

#twnovel

#twnvday

国勢調査かい。

ご苦労だね、こんなところまで。

まあ、見てのとおり。

現住所は公園、無職、独身、年齢は忘れたね。

てきとうに書いといてよ。

ん？

他のやつら？

そのへんにいるだろ……あ、もう十月か。

じゃあ、何人か旅行中だわ。

出雲に行ってたんだ。

神様だからさ。

2010/10/13 (Wed)23:43:29

その朝、霜が降りた道を踏んで、

*毎月十四日はついのべの日。今月のお題は”旅”。

#twnovel

#twnvday

その朝、霜が降りた道を踏んで、駅から運転免許センターへ歩いていった。

午後、免許証を手に駐車場へゆくと、父のカローラが待っていた。

父がキーを放り、僕がキャッチした。

「十八年間、つきあわせて悪かった。君は、君の旅をしろ」

そう言って、駅へ歩み去った。

2010/10/14 (Thu)21:13:56

「俺はカクさん！ おまえはスケさん！ おまえはハチ！」

*毎月十四日はついのべの日。今月のお題は”旅”。

#twnovel

#twnvday

「俺はカクさん！ おまえはスケさん！ おまえはハチ！」

「おいおい、そんな大声を出すな」

「サイコーじゃねえ、これ！ マジたまんねー！」

「一体、なんの騒ぎじゃ？」

「これは御老公、もとい御隠居、角さんがクスリをキメたようで」

「トリップしておるのか？」

2010/10/14 (Thu)22:06:34

まだ歩けなかった時分、這って旅立った。

*毎月十四日はついのべの日。今月のお題は”旅”。

#twnovel

#twnvday

まだ歩けなかった時分、這って旅立った。

じきに歩くことを覚えた。

転んでは立ちあがり、旅を続けた。

そのうちに便利なものができた。

馬車、自転車、蒸気機関車、自動車、飛行機、そして宇宙船……不死人の旅は終わらない。

未来へ向かうだけのタイムマシンの旅……

2010/10/14 (Thu)22:38:03

幼い頃の僕は、

*非実在老人問題。

#twnovel

幼い頃の僕は、よく祖父の部屋へ逃げこんだ。

扉も窓も施錠した祖父の部屋へは、小さな掃き出し口から侵入した。

祖父だけは、何も言わず、僕の話聞いてくれた。

その後、親友ができ、祖父に頼ることはなくなったが、ときどき会いたくなる――

今年、百三十歳になったはずの祖父に……

2010/10/16 (Sat)21:33:52

「江戸におったとはな」

「殿、お久しゅうござる」

「大工か——この町にまぎれるにはいい職だ。お主には、天職でもある」

「……」

「どうじゃ、すべて水に流すゆえ、またわしに仕えてみぬか？」

「殿……拙者、人を殺す家は、もう作りとうないのです」

「しかし、人の死なぬ家はないぞ」

2010/10/16 (Sat)23:28:56

よく、ついのべで、

*脱力ついのべ道場。

#twnovel

「よく、ついのべで、起承転結も、序破急もない、物語のていをなしていないものがありますね」

「ありますか」

「はい。物語とは行動の記録であるべきですが、何もおこらない悶々としているだけの独白で終わるものがあります」

「え、それがついのべだと思ってました！」

「ぎゃふん！」

2010/10/18 (Mon)20:38:31

タグがついていて、

*脱力ついのべ道場。

#twnovel

「タグがついていて、一三一字以内に収まっていればついのべだと考えているひとがいます」

「いけませんか」

「いけません。それでは、ついのべの精神を具現したことにはなりません」

「では、どうすればいいのです？」

「祈るのです」

「は？」

「祈るのです」

「はあ？」

「祈るのです！」

2010/10/18 (Mon)20:43:43

ジュウさんはたよりになる。

* 十三夜の月に捧ぐ——

#twnovel

ジュウさんはたよりになる。

このひとについてゆこう——そう思わせるひとだった。

漂着した私たちが生き延びたのは、彼のおかげだった。

だから、その朝、彼の姿がなかったことで、私たちはパニック状態に陥った。

口論に疲れた頃、遠くから、

「おーい、町があるぞー」

「ジュウさんや！」

2010/10/20 (Wed) 17:48:45

*十三夜の別名は”栗名月”——

#twnovel

ゆっくり話せよ、聞いてやるから。

なに、競馬で勝ちまくりで、豪遊しようとしてくれたらぼったくりバーだった？

そりゃ災難だったな。

え、まだ先がある？

店から放りだされたあと、夜道でひったくりにあったの？

はあ、まあ、気を落とすなって、今夜は栗名月……あ、降ってきた。

2010/10/20 (Wed)20:55:21

*” 遠くで汽笛を聞きながら” を聞きながら——

#twnovel

悩み続けた日々が、まるで嘘のように忘れられる時が来るまで、心を閉じたまま暮らしてゆこう。

そう決めたのに、追いかけてくるあの音。

かっとして手にかけることになった、あの女の、あの音。

暮らしてゆけるだろうか。

何もいいことがなかったこの街で。

遠くでいびきを聞きながら……

2010/10/21 (Thu)17:57:23

*系外惑星から通信が届いた、という報道にちなんで……

#twnovel

人類が系外惑星からの電波を受信してから、三年がすぎた。
それは、あきらかに高度な文明を持つ種族からの通信だった。
内容は、なんらかの装置の設計図と推測された。
全世界の叡智が、その装置の製作のために結集した。
そうして、完成した惑星環境完全改造装置が、今、自律起動し……

2010/10/24 (Sun)14:30:48

*系外惑星から通信が届いた、という報道にちなんで……

#twnovel

人類が系外惑星からの電波を受信してから、三年がすぎた。
それは、あきらかに高度な文明を持つ種族からの通信だった。
内容は、ロボットの設計図と推測された。
全世界の叡智が、そのロボットの製作のために結集した。
そうして、完成したロボットが言った。
「超激安星間旅行社です！」

2010/10/24 (Sun) 14:46:01

*系外惑星から通信が届いた、という報道にちなんで……

#twnovel

人類が系外惑星からの電波を受信してから、三年がすぎた。

それは、そこそこ高度な文明を持つ種族からの通信だった。

内容は、ロボットの設計図みたいだった。

全世界の頓智が、そのロボット製作のために結集した。

そうして、完成したロボットが言った。

「トリック、オア、トリート！」

2010/10/24 (Sun) 15:27:34

世界的にレアアースが不足していた。

*ミドルアース共和国は実在ませんが、

中華人民共和国

みたいな国だと思います。

#twnovel

世界的にレアアースが不足していた。

ミドルアース共和国が供給を停止したためだ。

鎖国政策も各国の非難を浴びた。

ついに国連が調査に入った。

現地報告は世界を震撼させた。

かの国では食糧生産が追いつかず、レアアースを食糧に転用していたのだ。

ネオジム餃子が、特に人気だという。

2010/10/24 (Sun)22:36:50

その洋館は傾いでいた。

*”有角”は”あるかど”と読んでください。

英語ふうに書いて逆に読むと……

#twnovel

その洋館は傾いでいた。

爵位を賜った家系というが、ひどい没落ぶりだ。

現在は、当主の一人ずまいのはず。

戸籍によれば、もう百五十歳。

「有角さん、役所のものです」

返事はない。

苦勞して踏み込むと、奥の部屋に棺を見つけた。

何も考えずに蓋を取った。

それが、永遠の夜のはじまり。

2010/10/24 (Sun)23:06:01

子供たちの声が近づいてきた。

*かぼちゃ頭の少年シリーズ。

#twnovel

子供たちの声が近づいてきた。

妻が、いそいそとお菓子を用意した。

小さな拳で扉を叩く音。

「とりっく、おあ、とりーと！」

「はいはい」

と扉を開くと、かぼちゃ頭の小人たち。

「えーと……十一人ね」

「違うよ、十人だよ」

「え？ ひいふう……十一人よ」

「あ、本物のジャックがいる」

2010/10/25 (Mon)18:28:03

門が開いていたから、外へ出た。

*かぼちゃ頭の少年シリーズ。

#twnovel

門が開いていたから、外へ出た。

街にはひとけがなかったけれど、僕より大きな子供たちの一団をみつけた。

楽しそうだったのでついていったら、いちばん大きな子が、ある家の扉を叩いた。

「とりっくおあとリーと！」

扉が開き、僕は息を呑んだ。

そのひとの頭は、かぼちゃじゃなかった。

2010/10/29 (Fri)20:12:04

ここが、今、話題の巨乳の店か！

*あえてハッシュタグをつけなかった”ここノンノン”ねたシリーズ。

「ここが、今、話題の巨乳の店か！」

「ノンノン、チアガールのイメージの健康的レストラン！」

「長いな。略してチャランでどう？」

「ノンノン、小銭みたいです！」

「まあまあ、入ってみよう……え？」

「ノンノン、こんなのフーターズじゃない！」

「レッサーパンダの店、風太’s……たしかに立ってる」

2010/10/29 (Fri)20:35:15

ここが、今、話題の大阪一うまいタコ焼き屋かあ！

**あえてハッシュタグをつけなかった”ここノンノン”シリーズ。*

「ここが、今、話題の大阪一うまいタコ焼き屋かあ！」

「ノンノン、大阪一ではなく、世界一です！」

「おいおい、世界一はないだろ、日本一くらいでいいだろ」

「ノンノン、日本一は世界一です！」

「はいはい……あれ、”ドイツ遠征のため当分休業”だって」

「ノンノン、ドイツでタコといえばパウル君！」

2010/10/29 (Fri)21:00:16

「なんだかな」

*名優に捧ぐ——

#kaibun

#twnovel

「なんだかな」

「悲しいな。観る？」

「泣くか？」

「普通はそうなる」

「ありがちな技のない、間——うまいな、野沢那智が……」

「リアルな嘘は、鬱、深くなる。見ないし……」

「なかなか！」

「旦那……」

2010/10/30 (Sat)21:49:17

全球的虫情報網と、虫記憶庫が完成した時、人類は虫の支配下に墜ちた。
それは虫の進化の終局点でもあり、人類の新しい時代の幕開けでもあった……
それがどうした。
俺はただ、死んだ女房に会いたいだけだ。
複雑な記憶庫の奥へ。
全身に群がる虫が、彼女の情報を再生する。
愛が甦る……

2010/10/30 (Sat)23:13:28

おお、兄弟！

*神州はろういん奇譚。

#twnovel

おお、兄弟！

おぬしも出てきたか。

何百年ぶりかのう。

ああ、そうそう御一新の頃、一緒に暴れたのう。

しかし、あれから、八百万の連中に遠慮して、隠れ棲む日々じゃったが、いいもんが入って来たもんよ。

神無月というのが、またいい。

さて、そろそろ行くか。

とりっくおあとりと！

2010/10/31 (Sun)15:09:16

おっと、もうこんな時間か。

*神州はろういん奇譚。

#twnovel

おっと、もうこんな時間か。

はろういんもおしまいだな。

うん、なんだ、おめえ、もう隠れがにひきこもるのかよ。

何、月があけりゃ八百万の連中が戻ってくる？

おいおい、舶来のもんすたあじゃねえんだ。

俺たちもあいつらも、お月さまに従ってんだ。

まだまだ神無月。

俺たちの天下だ。

2010/10/31 (Sun)22:00:56

「お菓子くれなきゃいたずらしちゃうぞ！」

#tnovel

「お菓子くれなきゃいたずらしちゃうぞ！」

一応、声をかけたけど、いつも扉も雨戸も閉めきった家だった。

だから、扉が開いたときは、こっちがびっくりした。

顔色の悪いおじさんが、

「お菓子はない、が、板をずらされては困る」

翌年、その家でおじさんのお母さんの死体が発見された。

2010/10/31 (Sun)22:56:10